Silver

こがねい

2026
No.164

～ 50年に感謝 さらなる発展へ ～



昭和54(1979)年
1月15日発行
会報第1号

平成19(2007)年1月20日発行

平成3(1991)年
7月20日発行

あの頃の表紙

シルバー人材センターと私
自転車安全教室
いきいきフェア2026
小金井市シニア元気フェスタ
無料学習体験教室
さんぽみち42
お知らせ

10月1日現在の会員数
男…　663名
女…　480名
計…1,143名



― いつまでも 笑顔と健康 地域の輪 ―

公益社団法人　小金井市シルバー人材センター

〒184－0002　小金井市梶野町４－２－７　グランツ梶野２階
TEL 0422-27-7117　　FAX 0422-27-7476
E-mail silver@koganei-sc.or.jp
URL https://webc.sjc.ne.jp/koganei/
編集・発行　公益社団法人小金井市シルバー人材センター

シルバー人材センターと私

小金井市シルバー人材センター設立50周年を迎えて！



桜町　田嶋　清二

小金井市シルバー人材センター設立50周年おめでとうございます。

私は70歳でシルバー人材センター（以後シルバー）に入会し、今日まで心身共に健康な毎日を送っています。健康の要因は一つではありませんが、私の場合シルバーに入会し、就業による適度の緊張感、責任感、多くの人との対話、身体を動かす、地域活動に参加する等が要因であることに間違いありません。入会する前は“シルバーなんて”と無関心でしたが、今は入会して良かった。入会していなかったら今何をしているだろうなと思っています。

また、地域班集会、就業などで多くの人と知りあい、道で挨拶を交わす人が増えたことも事実です。シルバーは仕事先を斡旋するのが主ですが、地域社会の活性化も理念としてあります。会員が地域で活躍する動機として地域班集会、ボランティア活動などに参加するのも一つの方法だと思います。地域班集会を地域活動参加の動機付けにするため、集会は参加しやすく、参加してみようという企画が求められます。そのためには、集会に対するセンターの支援も大切です。多くの会員が職班、地域班で活躍できるシルバーになることを期待しています。

小金井市では昨年から今年にかけて、シルバーを含め**３件の周年行事**が行われました。

★小金井市シルバー人材センター設立50周年【昭和51（1976）年10月21日設立】

★小金井桜名勝指定100周年【大正13（1924）年12月９日指定】

（主な行事）・小金井市及び名勝小金井桜の会主催の講演会など
・市内各所に100周年記念横断幕の設置
・玉川上水堤で観られる野草の紹介冊子を発行

★武蔵小金井駅開業100周年【大正15（1926）年１月15日開業】
（大正13年４月４日開業の仮乗降場を駅へ昇格）

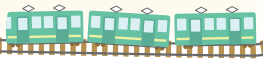
（主な行事）・こども駅長制服記念撮影
・ミニ新幹線乗車体験
・武蔵小金井電車区内車両洗浄機通過体験



田嶋会員には、小金井桜や鉄道に関する投稿を数多くお寄せいただき、会報発行に大いに貢献してくださっています

余談ですが「小金井」が付く駅は５駅あります

	開業年月日
小金井駅（宇都宮線）	明治26(1893)年３月25日
新小金井駅（西武多摩川線）	大正６(1917)年10月22日
武蔵小金井駅（JR中央線）	大正15(1926)年１月15日
花小金井駅（西武新宿線）	昭和２(1927)年４月16日
東小金井駅（JR中央線）	昭和39(1964)年９月10日



● 安全は　ルールとマナーが　事故防ぐ（前原町　飯田 勝巳 氏）●

令和８年度　自転車安全教室（安全管理委員会主催）

日　時：令和８年８月５日(水)10：00～11：00
場　所：本町作業所
講　師：日本交通安全教育普及協会講師２名
参加者：会員25名
内　容：



①道路交通法改正による自転車の安全運転ルール、マナーの講義
小金井市在住の講師より、市の状況にあった身近な道路事情や事故事例の紹介などわかりやすい説明がありました。

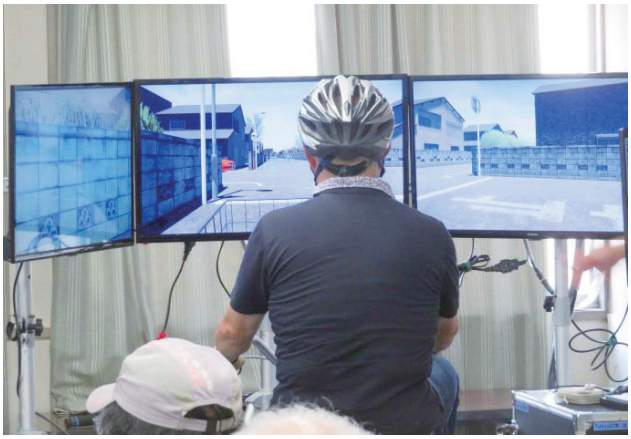
②自転車シミュレーターによる安全運転体験
代表者２名による体験でしたが、参加者もモニターを通して楽しみながら、わかりやすく安全ルールを共有することができました。

③ワークシートによる危険予測・認知・判断力診断
実際に使用されているワークシートの一部を体験し、自己採点後に診断項目ごとに安全運転のためのアドバイスがありました。

④参加者持参の自転車の安全点検
蔵本会員による参加者の自転車の安全点検が行われました。



自転車安全運転講義



自転車シミュレーターによる運転体験

最後の質疑も活発に行われ、時間が足りないくらい充実した教室となり、ほとんどの参加者から有意義であったとの感想がありました。参加者の皆さんが家庭や職場で本日の内容を話題にしていただき、安全運転の意識が広がることを期待いたします。

（安全管理委員会　大久保　義則）

自転車安全利用五則

① 車道が原則、左側を通行
　歩道は例外、歩行者を優先
② 交差点では信号と一時停止を守って、
　安全確認
③ 夜間はライトを点灯
④ 飲酒運転は禁止
⑤ ヘルメットを着用

警視庁ホームページより

自転車の点検ポイント「ブ・タ・ハ・シャ・ベル」

ブ　：ブレーキは前・後輪ともよく効くか
タ　：タイヤはすり減っていないか、空気は十分に入っているか
ハ　：ハンドルはきちんと固定されているか
シャ：車体（サドル、ライト、反射器材、ペダル、チェーン、スタンド、泥除け、積載装置）の確認
ベル：ベルは鳴るか

● 運動は　転倒予防の第一歩（貫井北町　桂 雄二郎 氏） ●

公益社団法人　小金井市シルバー人材センター

いきいきフェア2026

設立 50 周年記念　～50 年に感謝　さらなる発展へ～









小金井　宮地楽器ホール
小ホール・マルチパーパス・Dスペース
令和８年９月19日（土）

出展ブース

パソコン班…リモコンカー体験、PC・スマホ相談室
子育て支援班…折り紙魚釣り、バルーンアート体験
手工芸班…手工芸品の販売
喫茶すまいる…無料コーヒー
ふすま班…ペット用ふすまの展示、障子の強度体験
リビングサポート班…木工品製作体験
植木剪定班…植木剪定の施行前後写真の展示
福祉・家事援助班…清掃用具の使用体験
ハンドメイド教室班…手工芸品の展示・製作体験
学習教室班・子ども英語教室…学習クイズ



作品展示

写真、木彫り、
手工芸品、書、絵画、
陶芸　等

こども縁日で
一緒に遊ぼう！





● あぶないよ　心の中で　もう一度（本町　中澤 由利子 氏） ●

入会説明会

いきいき入会説明会
（10：00～16：00）





ステージ演技

12：30	ファッションショー（手工芸班製作衣装）
13：00	さくら体操













● 加齢来る　体力過信　事故の元　（東町　林 三蔵 氏） ●

小金井市シニア元気フェスタ

開催日：令和８年９月19日（土）
会　場：宮地楽器ホール大ホール

感動！ 感激！ 感謝！



中町　本田　勝三

元気フェスタの仕事は、昨年もさせていただきました。お客様の笑顔を思い出し、今年もお願いしました。

笑顔でお出迎えを心掛け会場に立ちました。今回は初めての試みの誘導方法でしたので、午前の部は多少戸惑いもありましたが、全スタッフの前向きな努力と頑張りで、トラブルもなく誘導ができました。次回開催時には更にマニュアル化でスムーズな運営を心掛けたいです。反省点としては、お身体の不自由なお客様への対応強化が必要と感じました。

メインイベントの歌謡ショー＆演芸では場外にあるモニターから、拍手・歓声・笑い声が聞こえお客様の満足が感じ取れました。終演後、お客様から「楽しかった」「良かった」「有難う」の言葉！笑顔でお見送り、一日充実した仕事に感謝です。

来年も生き生き元気でお会いしましょう。

ありがとうございました。

シニア元気フェスタで就業して



貫井北町　中野 奈美子

本年度のシニア元気フェスタも盛況のうちに開催されました。私は中大付属高校で行われていた敬老会の時から毎年就業させていただいております。今年も市長・来賓者・議員さんの受付を担当いたしました。

今回から招待券のハガキ１枚に対し１名、指定席ではなくご来場順にお席のご案内をするなどの変更がありました。周知されていても勘違いされて来られ、受付で残念な場面も多少見受けられました。良い席を確保したいと来られる方々のパワーは凄く、受付付近で混雑も見られましたが、それだけ一年に一度のシニア元気フェスタを楽しみにされていることがよくわかりました。私の友人もモノマネで笑い、青春歌謡で若き日々を思い出し堪能できたと満足しておりました。これもひとえに市役所の皆様や毎年この企画に携わって来られた方々の努力あってのこととつくづく思いました。





● 作業には　危険予知して　安全に（緑町　岡田 哲 氏） ●

無料学習体験教室



学習教室班　齊藤 美恵子

今では恒例となった2001年から続けている夏期ボランティア活動、今年も８月18日から20日の３日間、本町作業所で実施しました。

猛暑の中、生徒数の増加を願って班員15名が総力をあげて「無料学習体験教室生徒募集」のチラシを市民掲示板に掲示しました。効を奏してか22名（小学生13名、中学生９名）の参加申し込みがありました。昨年の受講生数の２倍強の申し込み、しかも新規の受講生が９割を占め班員の大きな励みになりました。



開始時刻を待てずにやってきて夢中で問題に取り組んでいた子ども達の姿が印象的でした。作成したプリント問題の最終ページを終えたときの受講生の満面の笑顔、私たちにとっても暑さを忘れる充実した３日間になりました。

＜受講生の声＞

・分からないところをていねいにわかるまで教えてくれて良かったです。
・とても楽しかったです。
・難しかったところを忘れずにやりたいです。



ボランティアはこころの活動！
各地域で開催される清掃等ボランティアに積極的に参加しましょう。

さんぽみち 42　里の唄棒打ち　（梶野町）

武蔵野の新田地帯では麦作が中心でした。棒打ちというのは、麦の脱穀の際に行う作業のことです。麦の脱穀は６月から７月の麦秋。大正時代には足踏み式の輪転機で穂と茎を分離したあと、庭にムシロを敷き、複数の人間がムシロを囲んで向かい合って並び「くるり棒」という竹製の道具を回転させ、交互に穂を打ちながら横歩きに進みます。カンカン照りの日中に行われ、全員の呼吸が大切だから流れ落ちる汗を拭うこともできません。棒で打つ大麦の穂先には鋭いトゲのようなものがあり、汗まみれの素肌にくっつきます。過酷な作業の辛さを少しでも紛らわすため、棒打ち唄を歌いながらリズミカルに作業を進めました。小金井では“棒打ち”を“ボーチ”といったそうです。梶野町には棒打ち唄の保存会がありますが、現在は活動を休止しています。



小金井市教育委員会より
昭和63年撮影

棒ち打ち　麦の穂落とす　里の唄（こがねい郷土かるた）

● 自転車も　時には凶器に　なりえます（貫井南町　真殿 香 氏） ●

お知らせ



次回、**正月特集号**では

「昭和の正月」の写真を大募集!!

（応募いただいた写真は返却いたします）

例年通りの「作品」「新年の抱負」も募集します

応募は12月1日（火）事務局まで

作品募集

昭和の正月の写真の他に、お寄せいただいた絵画や写真など趣味の作品を掲載します。





新年の抱負募集

「新年の抱負2027」を募集いたします。奮ってご応募ください。

【応募要領】

◎文字数は20字以内

◎氏名記載不要



地域班別新入会員数（人）　2026年７月～９月

	東町	梶野町	関野・桜町	緑町	中町	前原町	本町	貫井北町	貫井南町	入会	退会
7月	2	−	1	−	1	3	−	1	2	10	3
8月	1	2	−	2	−	2	4	−	3	14	3
9月	6	−	2	4	−	2	4	−	3	21	2
合計	9	2	3	6	1	7	8	1	8	45	8

編集後記

設立50周年を迎えるにあたり、過去の会報を振り返ってみました。その中で、創刊号となる「会報第1号」に出会えたことは、私にとって大きな喜びでした。表紙にも掲載しましたが、時代とともに会報の姿が変わっていく様子は、まるでセンターの歩みそのもののようです。

カラー印刷になってから編集に携わってきましたが、どの時代も会員の皆様のご協力があってこそ会報は成り立ちます。今回も多くの方に快くご寄稿いただきました。心より感謝申し上げます。

50周年の節目にあたり、これからも皆様とともに会報を育てていければと思います。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。　（阿部　記）

● 日頃の運動　無理なく継続（梶野町　鈴木 重幸 氏） ●